

まちの将来像、暮らす人の将来像イメージ（案）

1. まちの全体像（各地域ごとのイメージ）

駅前および周辺

- 泉ヶ丘駅前地域では、商業エリアの拡大、働く環境整備、教育機関の誘致が進み、泉北ニュータウンおよび近隣地域の中心的拠点にふさわしい、グランドレベルで賑わいを感じられる駅前となっている
- 次世代ヘルスケア産業等の誘致が進み、福祉施設、スポーツ施設、健康施設などの多様な健康機能の集積により、地域の予防医療や健康増進について取り組む機会がたくさんある
- 音楽や映画鑑賞など、文化的な取り組みが充実している
- 泉北ニュータウン外から仕事や観光などで訪れた人たちが宿泊できる施設が充実している



近隣センター

- 近隣センターは、私設図書館やコミュニティセンター、子育てサポートセンターなど、地域内の NPO が行う地域づくりの拠点として機能する
- 大学や高校などの教育機関と連携し、「まちの教室」「まちの研究室」など地域のなかにある学びの場として近隣センターを活用する
- Wi-Fi や電源、印刷機など近隣住民と共有できるビジネスインフラが整い、ご近所で仕事をしながらの異業種交流をはかることができる
- リノベーションのための素材がそろそろ専門店などをオープンし、ライフスタイルやライフステージにあった住環境整備が住民の手によって実現できる



学生たちも集う
駅前のコワーキングスペース



空き店舗を転用した
ゲストハウス



駅前広場周辺の
商業機能が充実している



学生たちも集う
職住近接の場づくり



リノベーションの素材が集まる
リサイクル店



空き店舗を転用した
研究施設



スクールやイベントを通じた
起業・創業支援



健康寿命延伸産業の
拠点施設



農村地域と連携した
和食カフェ



公共空間を利用した
ストリートピアノ



駅前広場を活用した
マルシェやイベント



デジタルサイネージで
地域の情報発信

※本資料は、将来像をイメージするための資料であり、確定したものではありません。

中高層エリア

- 面的な公的賃貸住宅等の建て替えや開発の機会をとらえた緑化の充実により、「緑豊か」という泉北ニュータウン地域の魅力がさらに向上し、より身近に緑を感じることができる
- 団地内に集い・働くことができる魅力あふれる空間を創出する
- 大学生や医療従事者向けの魅力あふれる共同賃貸住宅がたくさん供給されている
- 活用地に新たな機能を配置



1階住戸をカフェに転用



団地前の空間を集いの場に



高齢者×異世代シェアハウス

戸建てエリア

- 面的な公的賃貸住宅等の建て替えや開発の機会をとらえた緑化の充実により、「緑豊か」という泉北ニュータウン地域の魅力がさらに向上し、より身近に緑を感じることができる
- 泉北ニュータウンに戸建てを所持しているが、他地域に居住し日常では使用していないなどを理由に活用されていない住宅を、一定期間に限定し企業の社宅などとして賃貸住宅化することができる
- 個店、生活を豊かにする店舗や飲食店などが充実している



多様な世代、文化が集まる場づくり



自宅の庭を公開するオープンガーデン



自宅の一室を地域の人が利用できるシェアスペースとして開放

公共空間

- 公園や緑道な緑道などの豊かな緑空間では、家族や仲間が集うアウトドアリビングとして活用することができる
- IoT 技術を活用した新型域内スマートモビリティが充実し、幅広い年代層において選択肢が豊かな移動が可能となる
- 田園地域では、先端技術を取り入れた都市型農業が行われ、泉北ニュータウン内をはじめ、市内外の店舗や飲食店に新鮮な農産物を提供している。また、海外に通用するような農産物が生産されている



利用者のアイデアで広場をつかう



屋外空間を働き場に



公共空間を防災拠点に



農家と連携した食の取り組み



スマートモビリティで広がる行動範囲



公共空間を活用したパークレットの取り組み

公共施設

- 図書館、教育文化センター、文化会館などの文化センターでは、様々な体験や文化・最新技術等を享受できる
- 最新技術により、海外の文化も、より身近に体験できる
- 施設には、活動者をコーディネートする人材が配置され、日々地域活動のサポートを行っている



本、音楽、クラフトなど多様な文化が学べる



最新技術で実現するこれまでにない最先端の学び







日常的に文化やアートに触れることができる

※本資料は、将来像をイメージするための資料であり、確定したものではありません。

2. ライフステージごとの将来の地域住民の暮らし方像イメージ例

ジュニア | 0～19 歳

 ジュニアAさん
● 基礎情報 年齢：18歳 職業：大学生 学校：泉北地域の大学 ● トレンド 学生起業、コワーキング、オンラインサロン ● ストーリー 泉北住民の健康状態を維持・向上することを目的にした企業を設立。在籍する大学の資源を活用し、大学に通う傍ら経営にも挑戦する学生起業家。
 ジュニアBさん
● 基礎情報 年齢：14歳 職業：中学生 学校：泉北地域の中学校 ● トレンド ボランティア、SNS ● ストーリー 泉北住民とともに、泉北の課題解決や未来に役立つ取り組みを実行する団体を立ち上げ活躍する。
 ジュニアCさん
● 基礎情報 年齢：19歳 職業：高校生 学校：泉北地域の高校 ● トレンド 異文化交流 ● ストーリー 英語を専攻する学生。将来は泉北ニュータウンと海外との架け橋役になれる人材を目指して語学を学ぶ。
 ジュニアDさん
● 基礎情報 年齢：9歳 職業：小学生 学校：泉北地域の小学校 ● トレンド 地域学、放課後児童クラブ ● ストーリー コミュニティスクールの仕組みを取り入れた学校に通う児童。学校での学びだけでなく、地域の大人たちから、郷土について学ぶ。

○将来の姿(イメージ)

0歳～19歳のジュニア世代は、泉北ニュータウン内の学校に通いながら、農体験や職業体験などを通じて地域学について学び、地域愛を深めます。また、学んだ泉北の魅力や学校設備を活用して、地域活動や学生起業を通じて実践へと展開する学生たちもいます。





その他にも、中古住宅や団地をリノベーションした学生寮で生活をしたり、放課後には子ども食堂や児童スクールで友だちと遊んだりしています。

将来のイメージ

○関連する取組方針

- ・「農」のある暮らしの実現 (P.00)
- ・特色ある学校の誘致 (P.00)

ヤング | 20～30 代

 ヤングEさん
● 基礎情報 年齢：38歳 職業：市民活動団体所属・ゲストハウスオーナー 職場：自宅 ● トレンド シェアリングエコノミ、SNS ● ストーリー 泉北の資源や人を取材し、SNSや地域雑誌を発行し、泉北の魅力を地域内外へ届ける市民団体に所属。自信が経営するゲストハウスにも来客多数。
 ヤングFさん
● 基礎情報 年齢：26歳 職業：会社員 職場：堺市内 ● トレンド 地域活動、公共空間活用 ● ストーリー 自宅や職場とは違う、自分にとって心地よいと思えるサードプレイスな場づくりを目指して、地域活動に携わる。若手における中心人物。
 ヤングGさん
● 基礎情報 年齢：25歳 職業：会社員 職場：大阪市内 ● トレンド 職住近接・職住一致、テレワーク ● ストーリー COVID-19流行以前は、泉北は寝に帰るまちだったが、流行後は、自宅でのテレワークが増え、職場としての機能がでてきている。週の半分は自宅や公園で仕事をする。
 ヤングHさん
● 基礎情報 年齢：28歳 ● トレンド パブリックスペース、マイクロツーリズム ● ストーリー 公園や駅前広場などのオープンスペースで子どもを遊ばせながら、子育て友だちとオープンテラスでコーヒーや音楽祭を楽しむ。

○将来の姿(イメージ)

20代～30代のヤング世代は、リノベーション住宅や住替えのシステムを活用し、ライフステージに応じた住宅で暮らし、緑豊かな屋外空間で子育てを楽しんだり、郊外に居住しながらも地域の中で働けるスタイルを確立したりしています。

また、公園などの屋外空間や農村部で開催されるイベントに参加したり、時にはマルシェの主権者になって、地域内外の人たちをもてなす側になったりしています。

将来のイメージ

○関連する取組方針

- ・公園・緑道などの自然豊かな環境で子育てをする郊外居住ライフスタイルの定着 (P.00)
- ・既存住宅の循環(住み替え・リノベーション)による住宅供給の取組の推進
- ・リモートワークスペース等の導入の促進 (P.00)

※本資料は、将来像をイメージするための資料であり、確定したものではありません。



アダルト | 40～50代



アダルトIさん

- 基礎情報** 年齢：45歳 職業：自営業（建築士）・コワーキングスペースオーナー 職場：田園空間
- トレンド** 地域経済、コワーキング
- ストーリー** 建築士として、泉北の空き家リノベーションなどを手掛ける他、自信の職場をコワーキングスペースとして開放。働き世代の拠り所になっている。



アダルトJさん

- 基礎情報** 年齢：57歳 職業：自営業・市民活動団体 職場：自宅
- トレンド** 商品開発、ブランディング
- ストーリー** 泉北の温暖な気候を活用し、自宅の庭で果実を育てる。育てた果実は、地域の特産品として様々な企業とタイアップしながら販売している。



アダルトKさん

- 基礎情報** 年齢：55歳 職業：高校教員 職場：大阪市内
- トレンド** IoT、シェアサイクル、ヘルスケア、緑道
- ストーリー** IoT技術を利用した健康管理の支援サービスを活用する。専門家の健康指導を受けながら、緑道をランニングし、健康維持を図る。



アダルトLさん

- 基礎情報** 年齢：42歳 職業：公務員 職場：堺市
- トレンド** インクレディブル・エディブル（公共空間を食べられる庭に変える）、パークレット（車道を人のための空間に転用）、自給自足
- ストーリー** 自宅の庭で季節の野菜や果物を育て収穫している。また、公園でのパブリックビューイングや陶芸を楽しむ。

○将来の姿(イメージ)

40代～50代のアダルト世代は、福祉や教育などの課題解決型のビジネスに関わったり、地域活動のコアメンバーとして活躍したりしています。健康づくりへの関心が深く、緑道でのランニングや、農村部で収穫されるオーガニック野菜をいただく。地域の人たちが働きやすいようにコワーキングスペースの運営をしたり、遊びやコミュニティの場をつくるためにカフェや商品開発などに取り組んだりします。

将来のイメージ

○関連する取組方針

- ・個人事業者などの起業支援（P.00）
- ・地域課題解決のビジネスの推進（P.00）
- ・周辺の農村地域との連携（P.00）



シニア | 60歳～



シニアMさん

- 基礎情報** 年齢：69歳 職業：研究員 職場：堺市内
- トレンド** 共生社会、地域研究
- ストーリー** 大学での研究に長く携わる傍ら、泉北ニュータウンの都市政策や地域行事などにおいて、自らのスキルをまちの将来のために還元する。



シニアNさん

- 基礎情報** 年齢：63歳 職業：会社員 職場：大阪市内
- トレンド** モビリティ、コミュニティデザイン
- ストーリー** 自治会への参加や地域活動に積極的に参加。移動手段は次世代モビリティ。泉北内のあちこちを移動してはコミュニティの輪を広げる。



シニアOさん

- 基礎情報** 年齢：73歳
- トレンド** 海外旅行、資産運用、別荘
- ストーリー** 関西空港までバス一本で移動できる利便性から老後は泉北に移住。夫婦ふたりで週末はマイクロツーリズムを楽しむなど、近隣、遠方問わず旅行する。



シニアPさん

- 基礎情報** 年齢：82歳
- トレンド** 先端医療、三世代近住
- ストーリー** 大学の先進的な医療を受けながら、自宅や自然豊かな公園でゆっくりと過ごす。近隣に住む息子夫婦と過ごすことも多い。

○将来の姿(イメージ)

60代以上のシニア世代は、退職後も生涯現役的に仕事を続けたり、自信の得意を地域活動に活かしたりしています。ウェアラブル機器を使った健康管理や、まちなかを走るモビリティに乗って買い物に行くなど、先端技術を積極的に活用して豊かな暮らしを楽しんでいます。

子供たちを見守る立場として、三世代同居や近居、見守り活動にも参加しています。

将来のイメージ

○関連する取組方針

- ・健康寿命延伸の取組（P.00）
- ・高齢者に対応した移動手段の確保（P.00）
- ・生活を豊かにする身近な商業・サービス施設の誘導（P.00）